

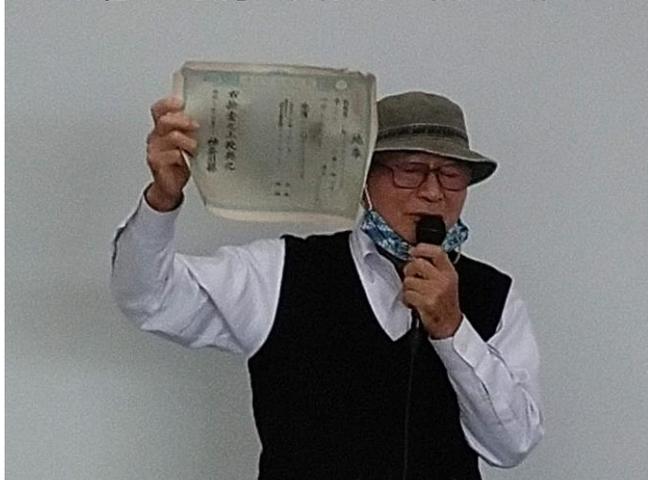
日中友好講演のつどい開催

10月に開催を予定しながら台風の直撃予報のために延期された湘南支部主催の日中友好講演のつどい「花水川流域の『自由民権運動』と日中『70年戦争』」が11月1日(日)の午後、藤沢市内にて開催されました。

講師を務めた湘南支部役員でもある詩人の府川きよしさんの叙事詩のような語りに、参加した25名は時を忘れて聞き入りました。

山内副支部長の開会あいさつに続いて、前半は今年3月に発刊した「府川きよし詩集・「流域の自由民権運動」」の叙述をベースに、講師が要点を解説しながら、湘南地域を含む自由民権運動の盛衰を縦横に語りました。とりわけ、国会開設を求める運動や民権結社「湘南社」の活動、自由党の歴史などを重点的に解説しました。

＜先祖の「地券」の実物を手に解説する講師＞



後半は丸山静雄氏の著書「日本の『70年戦争』」に導かれながら、講師が「日中戦争の発端となった盧溝橋に、なぜ日本軍が駐屯していたのか?」という自身の疑問から調べ始め、日本の侵略戦争の継続性に気付いたとして、1874年の台湾出兵に日本の中国侵略の起点を求める「70年戦争史

観」を展開しました。

平塚や厚木からの、また講師の詩人仲間などの参加者との質疑応答では、自由民権運動の関連史跡でもある伊勢原の「雨岳楽文庫」や、藤沢の「耕余塾」の保存に関わる問題などが交流できました。さらに古代中国と日本との関係に関わる問題や歴史教科書をめぐる質問などが出されました。



最後に今野副支部長が日本のアジア侵略を70年のくくりで捉えることへの共感や「黒人の命は大事だ」という運動が支持されながら、自国の「植民地支配責任」に目が向かない日本の現状を憂う閉会あいさつで終了しました。

二エ・アル記念広場 清掃活動

12月7日(月) 午前10時30分～

※毎月第一月曜日に、有志が、中華人民共和国の国歌「義勇軍行進曲」の作曲者である聶耳(二エ・アル)の慰霊記念碑のある広場を清掃しています。どなたでも参加できます。

2021年「中国悠久の旅」カレンダー普及のお願い

1,200円(税込)

中国各地の絶景や町並み、日常の風景などの傑作写真を集めたカレンダーが毎年好評です。待望の2021年版も完成し、支部でも普及に力を入れています。

自宅にも事務所にも最適で、毎日、中国を眺められるカレンダーを自身やお友達にぜひ。